

光市立三井（みい）小学校で3年生が森林体験学習を実施！

令和5年11月14日（火）、光市立三井小学校の体育館で3年生児童37名を対象に、森林の話、釘打ち体験、椅子づくりの「森林体験学習」を実施しました。

この取組は、次代の担い手となる子供たちに、ふるさとの森林の大切さやそれを支える林業の役割などへの理解を深めてもらうことを目的として、光市林業研究会（会長：森戸芳史、会員23名）が実施したものです。

体験の内容は、1つ目は、林研会員による森林のお話です。林研会員が、「豊かな森林とは、生態系の頂点の猛禽類がいることである」と話してから、児童らは、鳥の鳴き声のクイズにチャレンジしました。

2つ目は、木工体験です。ノコギリを使わずに釘打ちのみによる椅子の製作です。

まずは、角材に釘を打ち込む練習をしました。「楽しいから、ずっと打ち続けたい！」という児童もいました。

そして、本番の椅子づくりです。1工程ずつ、会員がお手本を示しながら、見よう見まねで児童らは、組み立てていきました。自らの釘打ちの振動で、いつの間にか木がずれたまま打ち込み、会員が釘抜きを使って修復することもありました。

最後は、サンドペーパーで磨いて完成です。よほど釘打ちが楽しかったのか、早く完成させた児童は、また角材に釘を打ち込んでいました。



釘打ちに夢中です



もうすぐ完成